

県の取組みに関するアンケート調査結果

広報課

1 調査目的

県の取組みについて、県民の皆さんの意識を把握し、今後の参考とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象：県政モニター485人（うちインターネットモニター278人）

調査方法：郵送及びインターネット

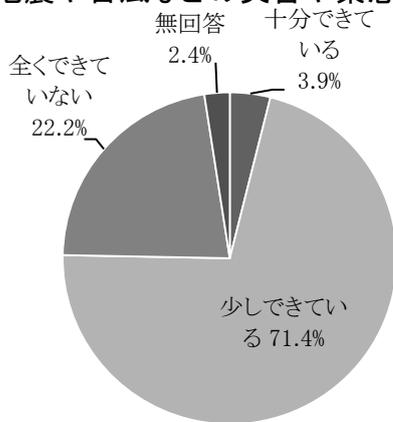
調査期間：令和元年8月21日～9月4日

回収結果：408人（回収率84.1%）

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

○ 地震や台風などの災害や緊急時の備えについて



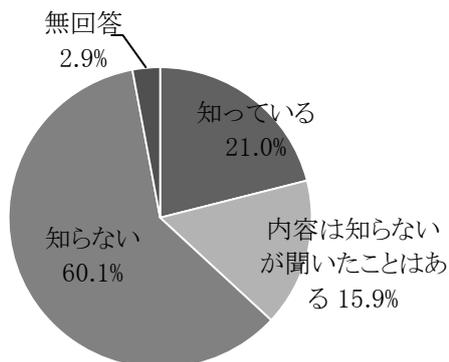
「少しできている」「十分できている」と回答した方が行っている主なもの

- ・飲料水や食料品の備蓄
 - ・非常持ち出し品（携帯ラジオなど）の用意
 - ・避難路・避難場所の確認
 - ・地震に備えた家具類の固定
 - ・防災マップやハザードマップの確認
- （上位5項目）

○ 避難情報に対する行動

- | | |
|----------------------|-------|
| ・自分で危険な状況だと判断したら避難する | 34.6% |
| ・避難情報に従い、避難する | 31.2% |
| ・周りの人と相談して避難するか決める | 28.0% |
| ・避難はしない | 1.7% |

○ 「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度



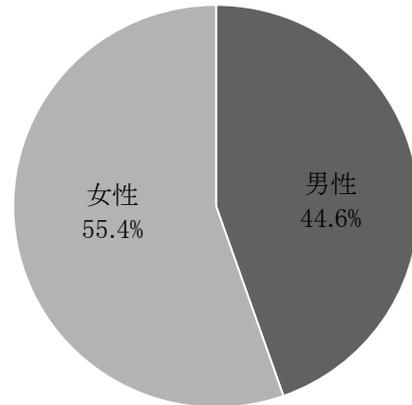
○ 必要とする健康づくりへの対策

- ・健康的で望ましい食習慣づくりの推進
 - ・高齢者が生きがいをもって活躍できる地域づくり
 - ・生活習慣病予防につながる身体活動・運動習慣づくりの推進
 - ・がん検診など各種検診受診率の向上対策の推進
 - ・受動喫煙防止対策の推進
- （上位5項目）

4 回答者属性

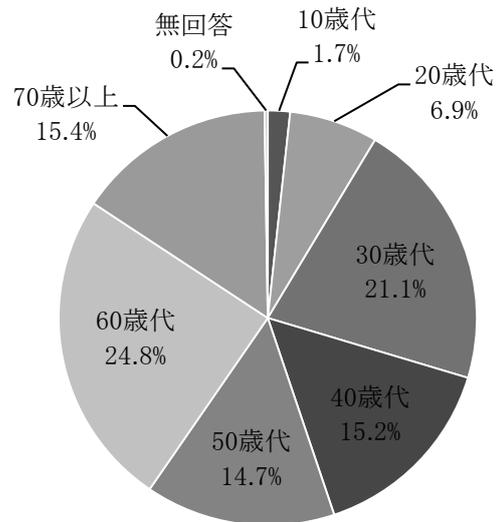
(1) 性別

	人数	割合
男性	182	44.6%
女性	226	55.4%
計	408	100.0%



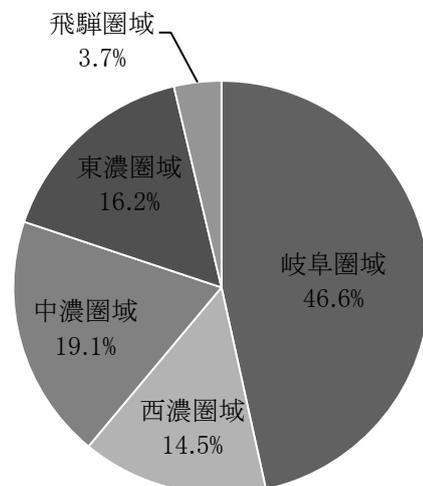
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	7	1.7%
20歳代	28	6.9%
30歳代	86	21.1%
40歳代	62	15.2%
50歳代	60	14.7%
60歳代	101	24.8%
70歳以上	63	15.4%
無回答	1	0.2%
計	408	100.0%



(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	190	46.6%
西濃圏域	59	14.5%
中濃圏域	78	19.1%
東濃圏域	66	16.2%
飛騨圏域	15	3.7%
計	408	100.0%

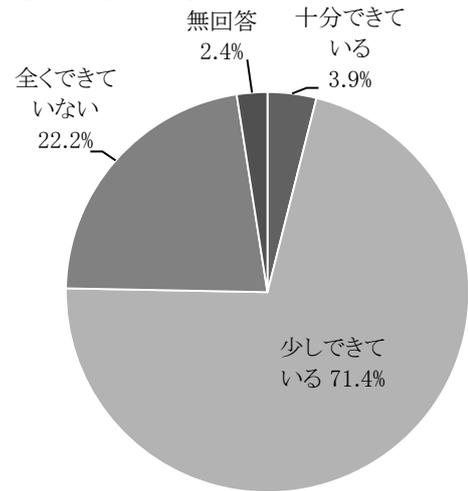


5 調査結果

問1 あなたは、地震や台風などの災害や緊急時の備えができていますか。

	人数	割合
十分できている	16	3.9%
少しできている	292	71.4%
全くできていない	91	22.2%
無回答	10	2.4%
計	409	100.0%

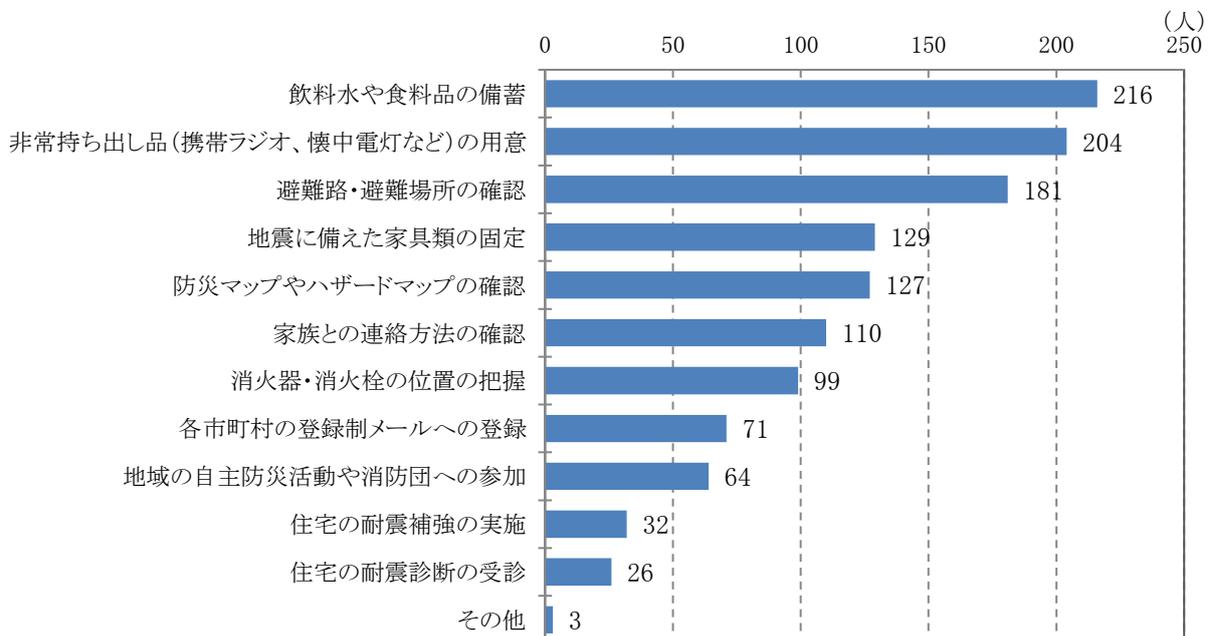
※複数回答された方がみえるため、回答者数より回答数が多くなっています。



問1-2 (問1で「1 十分できている」または「2 少しできている」と答えた方)
あなたは、地震や台風などの災害や緊急時に備え、現在どのようなことをしていますか。

(複数回答) 回答者 307 人

	回答数	割合
飲料水や食料品の備蓄	216	70.4%
非常持ち出し品(携帯ラジオ、懐中電灯など)の用意	204	66.4%
避難路・避難場所の確認	181	59.0%
地震に備えた家具類の固定	129	42.0%
防災マップやハザードマップの確認	127	41.4%
家族との連絡方法の確認	110	35.8%
消火器・消火栓の位置の把握	99	32.2%
各市町村の登録制メールへの登録	71	23.1%
地域の自主防災活動や消防団への参加	64	20.8%
住宅の耐震補強の実施	32	10.4%
住宅の耐震診断の受診	26	8.5%
その他	3	1.0%
計	1,262	-

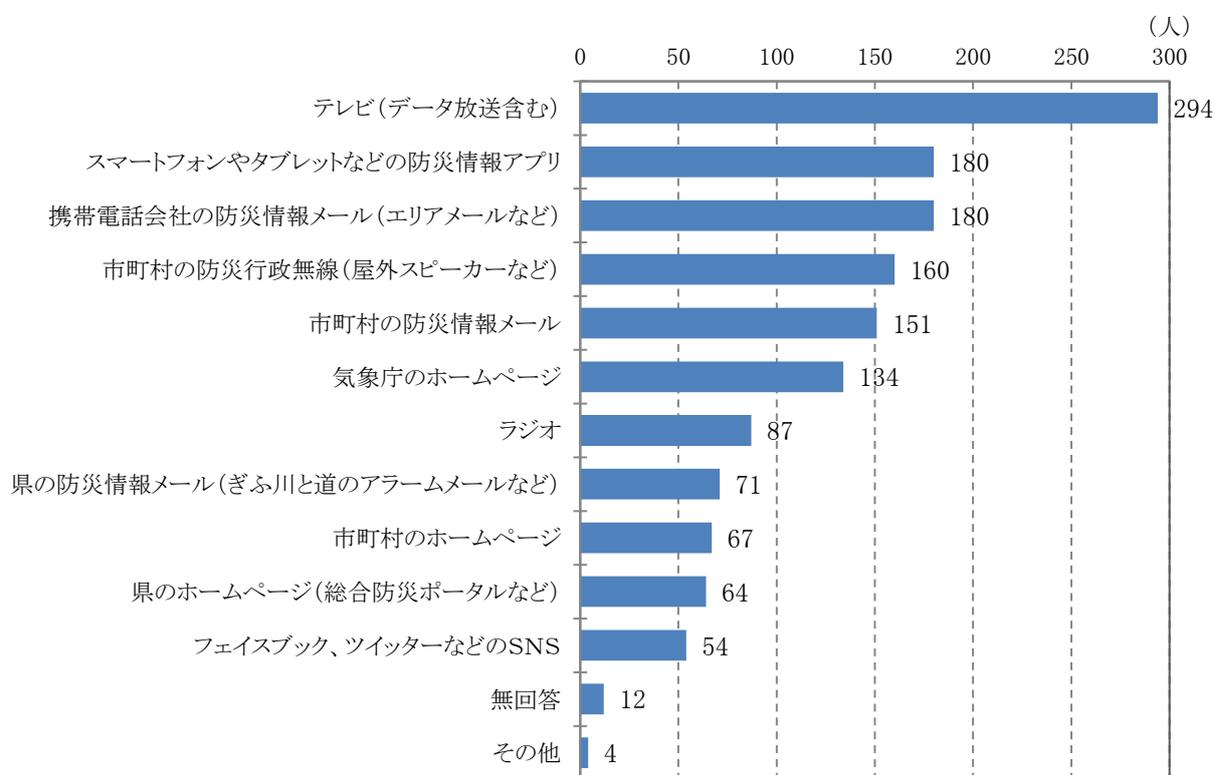


「その他」のうち主なもの
・防災センターの見学

問2 あなたは、台風や集中豪雨発生時に、防災対策や避難行動に役立つ情報を何によって
 知ることが多いですか。

(複数回答) 回答者 408 人

	回答数	割合
テレビ(データ放送含む)	294	72.1%
スマートフォンやタブレットなどの防災情報アプリ	180	44.1%
携帯電話会社の防災情報メール(エリアメールなど)	180	44.1%
市町村の防災行政無線(屋外スピーカーなど)	160	39.2%
市町村の防災情報メール	151	37.0%
気象庁のホームページ	134	32.8%
ラジオ	87	21.3%
県の防災情報メール(ぎふ川と道のアラームメールなど)	71	17.4%
市町村のホームページ	67	16.4%
県のホームページ(総合防災ポータルなど)	64	15.7%
フェイスブック、ツイッターなどのSNS	54	13.2%
無回答	12	2.9%
その他	4	1.0%
計	1458	—



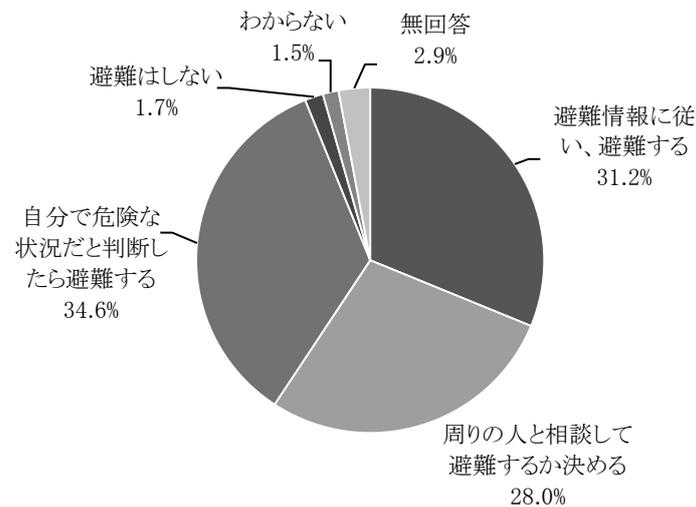
「その他」のうち主なもの

- ・市町村の防災行政無線(屋外スピーカー)は大雨等の時は全く聞こえないので、防災ラジオ等を各家庭に無償配布すべき。

問3 あなたは、台風や集中豪雨発生時に市町村から警戒レベル3(高齢者等避難開始)や警戒レベル4(避難勧告・避難指示)などの避難情報が発令された場合、これらに従って行動しますか。

	人数	割合
避難情報に従い、避難する	128	31.2%
周りの人と相談して避難するか決める	115	28.0%
自分で危険な状況だと判断したら避難する	142	34.6%
避難はしない	7	1.7%
わからない	6	1.5%
無回答	12	2.9%
計	410	100.0%

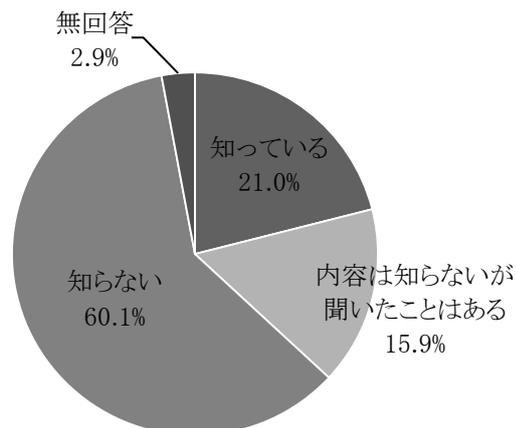
※複数回答された方がみえるため、回答者数より回答数が多くなっています。



問4 岐阜県では、県民の皆様へ「清流の国ぎふ森林・環境税」を負担していただき、豊かな森づくりや清流の保全に取り組んでいます。あなたは、この「清流の国ぎふ森林・環境税」を知っていますか。

	人数	割合
知っている	86	21.0%
内容は知らないが聞いたことはある	65	15.9%
知らない	246	60.1%
無回答	12	2.9%
計	409	100.0%

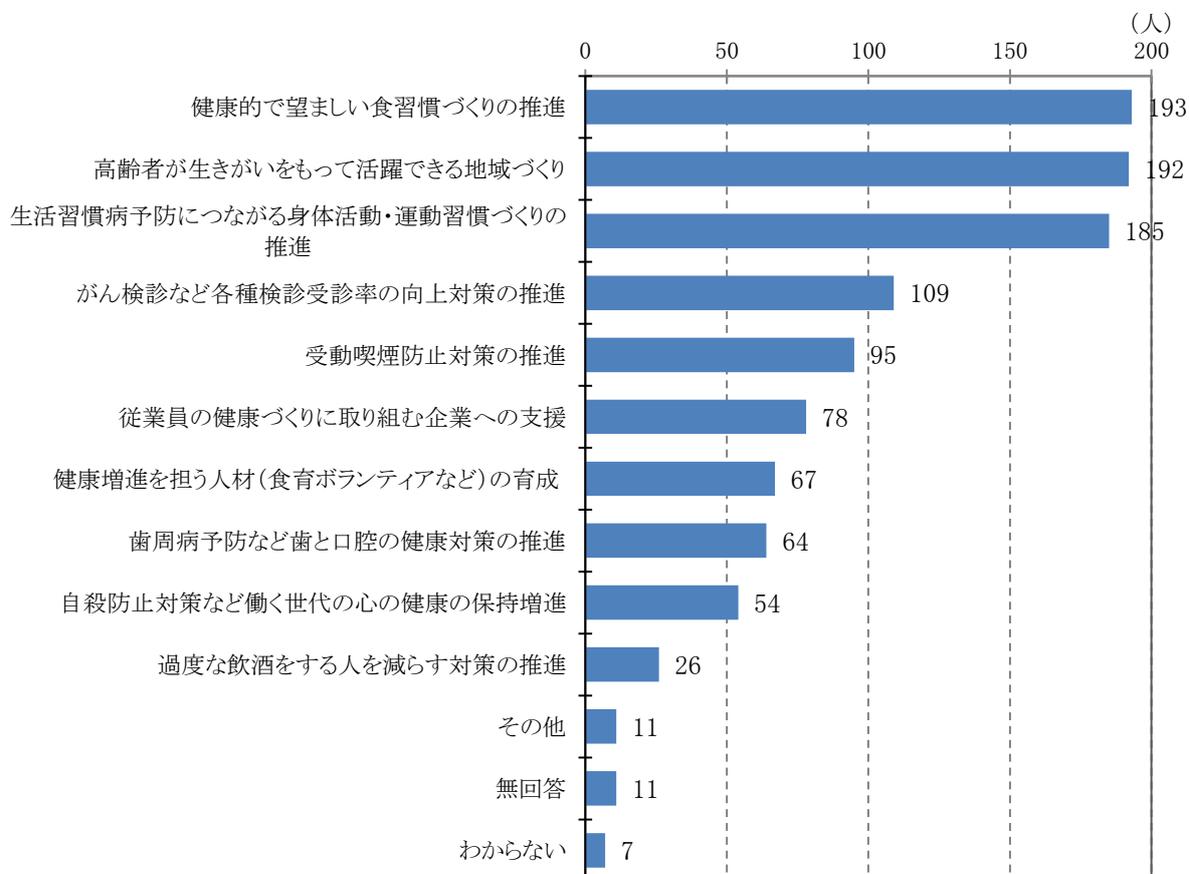
※複数回答された方がみえるため、回答者数より回答数が多くなっています。



問5 2020年に、東京で開催されるオリンピック・パラリンピックに続いて、岐阜県で初めて「ねんりんピック(全国健康福祉祭)」を開催します。囚生100年時代を迎えた今、あなたは、健康づくりのため、県はどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。

(複数回答) 回答者 408人

	回答数	割合
健康的で望ましい食習慣づくりの推進	193	47.3%
高齢者が生きがいをもって活躍できる地域づくり	192	47.1%
生活習慣病予防につながる身体活動・運動習慣づくりの推進	185	45.3%
がん検診など各種検診受診率の向上対策の推進	109	26.7%
受動喫煙防止対策の推進	95	23.3%
従業員の健康づくりに取り組む企業への支援	78	19.1%
健康増進を担う人材(食育ボランティアなど)の育成	67	16.4%
歯周病予防など歯と口腔の健康対策の推進	64	15.7%
自殺防止対策など働く世代の心の健康の保持増進	54	13.2%
過度な飲酒をする人を減らす対策の推進	26	6.4%
その他	11	2.7%
無回答	11	2.7%
わからない	7	1.7%
計	1092	-



「その他」のうち主なもの

- ・高齢者が気兼ねなく外出できる環境整備
- ・高齢者のみの家庭でも安心して暮らせるインフラ整備